

2022年
山陰中央新報
地域開発賞

おめでとうございます!!
佐倉眞喜子さん
第61回文化賞受賞



▶松尾倫男社長(右) から表彰状を受け取る

佐倉眞喜子さん(左)

な人づくりに力を入れるなど、なお精力的に活動を続けておられます。今後益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

令和4年10月26日(水)、松江千鳥町のホテル一畑にて、島根県内の各分野で、地域社会の発展に尽くした人を顕彰する山陰中央新報社の地域開発賞の表彰式がありました。本町の佐倉眞喜子さんが文化賞を受賞し、山陰中央新報社の松尾倫男社長から表彰状と副賞が贈られました。今回の受賞は、佐倉さんが長年、西ノ島町の福祉、環境、国際活動等に幅広く心血を注いで来られたことが高く評価されたことによるものです。「西ノ島の良さを自覚しながら、先人が培ってきたことを今の人が継続していくことが大切」と、地域の問題解決から地域活動の基盤づくりへ、次の世代が継続していけるよう

2022年度
グッドデザイン賞

おめでとうございます!!
白石吉彦 先生
グッドデザイン賞 金賞受賞



▲受賞式の様子。しまね総合診療センタースタッフドクターの坂口先生(左)と、白石先生(右)

この度、隠岐島前病院の白石吉彦参与がセンター長を務める「しまね総合診療センター」の活動が、公益財団法人日本デザイン振興会による「グッドデザイン賞」金賞を受賞されました。「グッドデザイン賞」とは、デザインによって暮らしや社会をよりよくしていくための活動を表彰するもので、今年度5715件のエントリーの中から、しまね総合診療センターの「総合診療医育成プロジェクト」が、20件しか選ばれない金賞を受賞しました。

このプロジェクトは、高齢化先進県である島根県において幅広い分野を診療できる総合診療医を育成するもので、離島やへき地など別々の場所で活動する総合診療医同士をつなげるバーチャルオフィスを構築し、同じ職場で職務に当たっているのと同様の連絡や相談を可能にする環境をつくりあげたプロジェクトとなります。

白石先生、受賞おめでとうございます。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。特別審査会での白石先生の最終プレゼン(4分間)はこちら



10/17

美しい海と巨大魚がすむ鳥をPR
国内最大級ヒラマサの魚拓を
寄贈いただきました！



▲左から 松尾さん、渡部さん、升谷町長、永見さん

10月7日(金)、6月に三度の岩場で、磯釣りの釣果として国内最大級とみられる体長158cm(拓寸163・5cm)、重さ31・2kgのヒラマサを釣り上げた渡部幸太郎さん(出雲市在住)より魚拓を寄贈していただきました。

寄贈式には、引き上げに協力した永見良明さん(出雲市在住)と磯渡しした松尾丸の松尾翔平さん(浦郷在住)も出席され、釣り上げた時の思い出話に町長は驚くばかりでした。

この度、寄贈していただきました魚拓は、別府港フェリーターミナルに展示する予定です。お近くにお寄りの際はぜひご覧下さい。

10/23

3年振りの開催
ギョギョギョ魚フェスタ
たくさんの来場者で賑わいました！



▲江府町の農産物販売には、長い行列ができました！

10月23日(日)、西ノ島町観光交流センター周辺において「ギョギョギョ魚フェスタ」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で昨年、一昨年と中止が続き3年振りの開催となりました。

イベント当日は天候に恵まれ、秋晴れのもと町内で水揚げされた鮮魚の販売、出店販売、栽培漁業センターによる稚魚放流体験が行われました。また、観光交流センター内では姉妹町である鳥取県江府町の農産物販売、じょんじょんによる体験コーナーなど、お子さんから長年参加いただいている方まで、大勢の人で賑わいました。



▲食生活改善推進員さんの郷土料理プレート大盛況！200食が完売しました！

イベント開催にあたりまして、水産関係機関をはじめ、町内事業者の皆様、地域住民の皆様のご理解とご協力をいただき、食欲の秋にふさわしいイベントとなりました。イベントにご協力いただきました関係者の皆様へ深く御礼を申し上げます。

西ノ島小学校2・3組&大人の島留学生とで、郷土料理のなめみそを使って「なめみそピザトースト」を販売しました！
たくさんのお客さんが来てくれました！ありがとうございます！



▲稚魚放流体験にはたくさんのお子たちが参加してくれました！

